資料Ⅰ-2

■地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び確保方策　評価シート【総括表】

令和7年3月31日現在。但し(10)は令和6年5月1日現在

事業名	担当課	区　分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	計画目標の状況
(1) 時間外保育事業(延長保育事業)	こども育成課	量の見込み	323人	313人	301人	294人	289人	達成
		確保方策	403人	403人	403人	403人	403人	
		確保方策の実施結果	403人	403人	403人	403人	**403人**	
		利用実績	350人	332人	338人	299人	**298人**	
(2)① 一時預かり事業 (幼稚園等における在園児を対象とした預かり保育)	こども育成課	量の見込み	20,296人日	19,253人日	17,966人日	17,668人日	17,532人日	達成
		確保方策	27,816人日	32,696人日	32,696人日	32,696人日	32,696人日	
		確保方策の実施結果	27,816人日	32,696人日	32,696人日	32,696人日	**32,696人日**	
		利用実績	11,498人日	19,693人日	17,914人日	15,594人日	**15,437人日**	
(2)② ❶一時預かり事業(在園児対象以外) ❷子育て援助活動支援事業(病児・緊急対応強化事業除く) ❸子育て短期支援事業(トワイライトステイ)	❶こども育成課 ❷こども育成課 ❸子育て支援課	量の見込み ❶~❸合計	11,715人日	11,446人日	11,110人日	4,620人日	4,620人日	達成
		確保方策　合計	8,940人日	8,940人日	8,940人日	8,940人日	8,940人日	
		❶	8,552人日	8,552人日	8,552人日	8,552人日	8,552人日	
		❷	346人日	346人日	346人日	346人日	346人日	
		❸	42人日	42人日	42人日	42人日	42人日	
		確保方策の実施結果 合計	8,940人日	8,940人日	8,940人日	8,940人日	**8,940人日**	
		❶	8,552人日	8,552人日	8,552人日	8,552人日	**8,552人日**	
		❷	346人日	346人日	346人日	346人日	**346人日**	
		❸	42人日	42人日	42人日	42人日	**42人日**	
		利用実績　合計	1,539人日	1,866人日	2,232人日	3,093人日	**2,758人日**	
		❶	1,539人日	1,848人日	2,211人日	3,091人日	**2,748人日**	
		❷	0人日	18人日	21人日	2人日	**10人日**	
		❸	0人日	0人日	0人日	0人日	**0人日**	
(3) 病児・病後児保育事業	こども施設課 こども育成課	量の見込み	1,871人日	1,813人日	1,741人日	1,442人日	1,442人日	達成
		確保方策	3,172人日	3,172人日	3,172人日	3,172人日	3,172人日	
		確保方策の実施結果	3,172人日	3,172人日	3,172人日	4,148人日	**4,148人日**	
		利用実績	905人日	1,442人日	2,256人日	1,434人日	**1,255人日**	
(4) 子育て短期支援事業(ショートステイ)	子育て支援課	量の見込み	17人日	17人日	16人日	16人日	16人日	達成
		確保方策	84人日	84人日	84人日	84人日	84人日	
		確保方策の実施結果	84人日	84人日	84人日	84人日	**84人日**	
		利用実績	0人日	6人日	0人日	22人日	**6人日**	
(5) 地域子育て支援拠点事業	こども育成課	量の見込み	17,232人回	17,097人回	16,934人回	16,473人回	16,022人回	達成
		確保方策	22,424人回	22,424人回	22,424人回	22,424人回	22,424人回	
		確保方策の実施結果	22,424人回	22,424人回	22,424人回	22,424人回	**22,424人回**	
		利用実績	5,344人回	7,754人回	8,894人回	7,504人回	**10,445人回**	
(6) 子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業)※就学後	こども育成課	量の見込み	134人日	131人日	128人日	125人日	119人日	達成
		確保方策	245人日	245人日	245人日	245人日	245人日	
		確保方策の実施結果	245人日	245人日	245人日	245人日	**245人日**	
		利用実績	159人日	0人日	0人日	14人日	**59人日**	
(7) 養育支援訪問事業	子育て支援課	量の見込み	11人	11人	11人	11人	11人	達成
		確保方策	11人	11人	11人	11人	11人	
		確保方策の実施結果	11人	11人	11人	11人	**11人**	
		利用実績	4人	3人	2人	5人	**3人**	
子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業	子育て支援課 学校教育課							
(8) 妊婦健康診査	健康・医療連携課	量の見込み	5,443回	5,305回	5,153回	5,015回	4,876回	達成
		確保方策	5,443回	5,305回	5,153回	5,015回	4,876回	
		確保方策の実施結果	5,727回	5,115回	5,264回	5,045回	**4,900回**	
		利用実績	4,899回	5,118回	4,625回	4,523回	**4,244回**	
(9) 乳児家庭全戸訪問事業	健康・医療連携課	量の見込み	397人	387人	376人	366人	356人	達成
		確保方策	397人	387人	376人	366人	356人	
		確保方策の実施結果	399人	387人	376人	366人	**356人**	
		利用実績	399人	372人	370人	363人	**334人**	
(10) 放課後児童健全育成事業	生涯学習課	量の見込み	691人	723人	748人	770人	776人	達成
		確保方策	790人	790人	790人	790人	790人	
		確保方策の実施結果	770人	776人	131人	830人	**830人**	
		利用実績	622人	632人	667人	699人	**682人**	
(11) 利用者支援事業	健康・医療連携課 子育て支援課	確保方策	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	達成
		確保方策の実施結果	1か所	1か所	1か所	1か所	**1か所**	
(12) 実費徴収に係る補足給付を行う事業	こども育成課	実施結果	実施	実施	実施	実施	**実施**	達成
		対象者数	21人	28人	18人	34人	**16人**	

◎量の見込み
各事業における“将来の利用人数”を見込んだもの。

量の見込み＝需要量

◎確保方策
「量の見込み」に対応した提供体制の確保量のこと。

確保方策＝供給量

◎確保方策の実施結果
実際に確保することができた確保量のこと。

確保方策≦実施結果となれば計画目標の状況は「達成」

◎利用実績
当該事業の実際の利用状況(人数・回数等)。

※詳細は、個別の評価シートを参照。

地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び確保方策　評価シート　令和6年度

(1)時間外保育事業(延長保育事業)

P(Plan)

事業内容
保育の必要性の認定を受けた子どもについて、保護者のやむを得ない理由により、通常の利用日及び利用時間以外の日及び時間において、保育所・認定こども園等で保育を実施する事業。
確保方策 (第二期計画記載内容)
今後も、引き続き各施設で事業を行うことにより、保護者のニーズに応える。

D(Do)

※下線:中間見直し後　(毎年度3月末現在)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
量の見込み		323人	313人	301人	294人	**289人**
確保方策		403人	403人	403人	403人	**403人**
実績	確保方策の実施結果	403人	403人	403人	403人	**403人**
	利用実績	350人	332人	338人	299人	**298人**
事業費		4,824,500円	4,999,400円	3,619,600円	3,994,800円	**5,824,200円**
令和6年度 事業実施状況		公立保育施設(4か所)と、民間保育所(4か所)、認定こども園(3か所)および小規模保育事業所(1か所)にて実施している。				

C(Check)

実績値(確保方策)に関する評価
計画どおり確保方策は達成している。

計画目標の状況	
令和2年度	達成
令和3年度	達成
令和4年度	達成
令和5年度	達成
令和6年度	**達成**

実績値(利用実績)に関する評価	課　題
量の見込みを超える利用実績となっており、保護者のニーズが高い。	時間外保育を担当する保育者の確保が困難となっている。また、現在勤務している保育者の高齢化も問題となっている。

A(Act)

今後の方向性
今後も、引き続き各施設で事業を行うことにより、保護者のニーズに応える。

計画書記載	P87	実施状況	実施中
担当課	こども育成課		

（2）①　一時預かり事業（幼稚園等における在園児を対象とした預かり保育）

P(Plan)

事業内容
幼稚園等の在園児を対象として、通常の教育時間の前後や長期休業日等において、預かりを行う。
確保方策（第二期計画記載内容）
見込まれるニーズ量に対する確保方策は達成しており、今後も引き続き、適切な事業展開に努める。

D(Do)

（毎年度3月末現在）

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
量の見込み		20,296人日	19,253人日	17,966人日	17,668人日	**17,532人日**
確保方策		27,816人日	32,696人日	32,696人日	32,696人日	**32,696人日**
実績	確保方策の実施結果	27,816人日	32,696人日	32,696人日	32,696人日	**32,696人日**
	利用実績	11,498人日	19,693人日	17,914人日	15,594人日	**15,437人日**
事業費		1,223,000円	1,545,500円	3,461,160円	4,461,120円	**8,898,453円**
令和6年度 事業実施状況		公立認定こども園及び幼稚園（4か所）並びに民間認定こども園（4か所）、他市に所在する認定こども園及び幼稚園にて実施している。				

C(Check)

実績値（確保方策）に関する評価
計画どおり確保方策は達成している。

計画目標の状況	
令和2年度	達成
令和3年度	達成
令和4年度	達成
令和5年度	達成
令和6年度	**達成**

実績値（利用実績）に関する評価	課　題
量の見込みの範囲内の利用実績となっている。	特別な配慮を必要とする児童への対応や、きょうだいの参観などで、日によって職員の必要数が変わるため、柔軟に対応できる職員体制の構築が課題となっている。

A(Act)

今後の方向性
今後も、引き続き各施設で事業を行うことにより、保護者のニーズに応える。

計画書記載	P87	実施状況	実施中
担当課	こども育成課		

（2）－②　❶一時預かり事業（在園児対象以外）、❷子育て援助活動支援事業（病児・緊急対応強化事業除く）❸子育て短期支援事業（トワイライトステイ）

P（Plan）

事業内容
❶一時預かり事業（在園児対象型を除く）は、（2）①以外の場合において、保育所や認定こども園等で行う一時預かりや就学前児童を対象とした子育て援助活動支援事業。
❷子育て援助活動支援事業（病児・緊急対応強化事業を除く）は、育児の援助を行いたい人と育児の援助を受けたい人からなる会員制による相互援助活動を実施する事業。
❸子育て短期支援事業（トワイライトステイ）は、保護者が仕事等の理由により平日の夜間または休日に不在となり、家庭における子どもの養育が困難になった場合に、児童養護施設等で子どもを保護し、生活指導、食事の提供等を行う事業。
確保方策　（第二期計画記載内容）
量の見込みに対して確保方策が不足しているため、保育所等における当該事業の拡充を検討し、受け入れ態勢の確保に努める。

❷の事業費には、（6）子育て援助活動支援事業（就学児）の費用を含む。

※下線：中間見直し後　（毎年度3月末現在）

D（Do）

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
量の見込み		11,715人日	11,446人日	11,110人日	4,620人日	**4,620人日**
確保方策		8,940人日	8,940人日	8,940人日	8,940人日	**8,940人日**
	❶	8,552人日	8,552人日	8,552人日	8,552人日	**8,552人日**
	❷	346人日	346人日	346人日	346人日	**346人日**
	❸	42人日	42人日	42人日	42人日	**42人日**
実績	確保方策の実施結果	8,940人日	8,940人日	8,940人日	8,940人日	**8,940人日**
	❶	8,552人日	8,552人日	8,552人日	8,552人日	**8,552人日**
	❷	346人日	346人日	346人日	346人日	**346人日**
	❸	42人日	42人日	42人日	42人日	**42人日**
	利用実績	1,539人日	1,866人日	2,232人日	3,093人日	**2,758人日**
	❶	1,539人日	1,848人日	2,211人日	3,091人日	**2,748人日**
	❷	0人日	18人日	21人日	2人日	**10人日**
	❸	0人日	0人日	0人日	0人日	**0人日**
事業費		9,543,966円	9,487,267円	9,883,221円	11,443,763円	**12,211,151円**
	❶	7,888,890円	7,530,000円	7,779,000円	9,254,693円	**9,475,000円**
	❷	1,655,076円	1,957,267円	2,104,221円	2,189,070円	**2,736,151円**
	❸	0円	0円	0円	0円	**0円**

令和6年度 事業実施状況	
❶	公立保育所（1か所）、民間保育所（1か所）、民間認定こども園（2か所）にて実施している。
❷	こども育成課内にセンターを置き、事業を実施した。事業周知するとともに、援助会員の確保に向けては、市広報紙への掲載や市ホームページ、LINE配信、チラシ作成などを行い、周知に努めた。
❸	児童養護施設1か所、母子生活支援施設2か所と契約し、事業の提供体制を確保した。

C（Check）

実績値（確保方策）に関する評価	
❶	計画どおり確保方策は達成している。
❷	援助会員については、安全な活動につながるよう、研修を実施し、依頼に応じられるように確保した。
❸	計画通り提供体制を確保できた。

計画目標の状況						
令和2年度	❶	達成	❷	達成	❸	達成
令和3年度	❶	達成	❷	達成	❸	達成
令和4年度	❶	達成	❷	達成	❸	達成
令和5年度	❶	達成	❷	達成	❸	達成
令和6年度	❶	達成	❷	達成	❸	達成

実績値（利用実績）に関する評価		課　題	
❶	量の見込みの範囲内の利用実績となっている。	❶	離乳食時期の子どもの一時預かりができる施設が限られている点が課題となっている。
❷	依頼に対し、可能な限りニーズに沿うようマッチングした。送迎のみの援助は、30件あった。相談があった際は、状況の聞き取りながら本事業のみでなく、他に活用できるような事業も同時に案内している。	❷	依頼会員のニーズに対応できるよう、さらなる援助会員の確保が必要。
❸	利用件数は0件であった。	❸	利用希望・利用申請がない状態が続いているため、制度の周知を図りながら、契約施設を確保していく必要がある。

A（Act）

今後の方向性	
❶	今後も、引き続き各施設で事業を行うことにより、保護者のニーズに応える。
❷	今後も、事業周知や援助会員及び両方会員の確保に努め、事業を継続する。研修を実施し、安全な活動を支援する。
❸	契約施設を確保し、継続して事業を実施できる体制を確保する。

計画書記載	P88	実施状況	実施中
担当課	❶❷こども育成課　❸子育て支援課		

(3)病児・病後児保育事業

P(Plan)

事業内容
病気にかかった子どもの体調が落ち着いてきた後、保護者が仕事等で子どもを看られない時に、施設に付設された専用スペースにおいて、看護師等が一時的に保育を行う事業。
確保方策（第二期計画記載内容）
利用ニーズの変遷を見極めながら、周知啓発に努める。

D(Do)

※下線：中間見直し後　（毎年度3月末現在）

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
量の見込み		1,871人日	1,813人日	1,741人日	1,442人日	**1,442人日**
確保方策		3,172人日	3,172人日	3,172人日	3,172人日	**3,172人日**
実績	確保方策の実施結果	3,172人日	3,172人日	3,172人日	4,148人日	**4,148人日**
	利用実績	905人日	1,442人日	2,256人日	1,434人日	**1,255人日**
事業費		15,281,480円	14,355,057円	16,360,274円	16,473,182円	**20,122,658円**
令和6年度 事業実施状況		病後児対応型を民間保育所(1か所)、体調不良児対応型を公立保育所(2か所)、公立認定こども園(1か所)、民間保育所(1か所)、民間認定こども園(2か所)で実施している。				

C(Check)

実績値(確保方策)に関する評価
計画どおり確保方策は達成している。

計画目標の状況	
令和2年度	達成
令和3年度	達成
令和4年度	達成
令和5年度	達成
令和6年度	**達成**

実績値(利用実績)に関する評価	課　題
体調不良児型の実績は、例年通り堅調に推移しており、病後児保育事業は昨年度に比べ実績値が増加している。	確保方策も達成しており、利用実績も堅調であることから大きな課題はないと考えている。

A(Act)

今後の方向性
体調不良児対応型について、令和8年4月開園を予定している新設保育所においても実施予定としている。

計画書記載	P87	実施状況	実施中
担当課	こども施設課、こども育成課		

（4）子育て短期支援事業（ショートステイ）

P（Plan）

事業内容

保護者の疾病等の理由により、家庭における子どもの養育が一時的に困難となった場合に、緊急一時的に施設で児童を一定期間養育・保護する事業。

確保方策　（第二期計画記載内容）

児童養護施設での事業実施により、受け入れ態勢の確保を図っていることから、今後も事業を継続実施し、ショートステイが必要になった際、適切な支援を行えるように、施設の確保に努める。

D（Do）

（毎年度3月末現在）

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
量の見込み		17人日	17人日	16人日	16人日	**16人日**
確保方策		84人日	84人日	84人日	84人日	**84人日**
実績	確保方策の実施結果	84人日	84人日	84人日	84人日	**84人日**
	利用実績	0人日	6人日	0人日	22人日	**6人日**
事業費		0円	33,000円	0円	235,400円	**57,600円**
令和6年度 事業実施状況		児童養護施設4か所、乳児院1か所、母子生活支援施設2か所と契約し、事業の提供体制を確保した。				

C（Check）

実績値（確保方策）に関する評価

計画通り提供体制を確保できた。

計画目標の状況	
令和2年度	達成
令和3年度	達成
令和4年度	達成
令和5年度	達成
令和6年度	**達成**

実績値（利用実績）に関する評価

利用件数1件（延べ6日）。乳児院の利用があった。
他にも利用したい旨の相談はあったが、直前に家族支援が可能となり、利用に至らなかった。

課　題

施設入所児童の増加により、施設への相談時に利用を断られることも多く、利用者の希望に対応できない場合が増えている。

A（Act）

今後の方向性

契約施設を確保し、継続して事業を実施できる体制を確保する。

計画書記載	P89	実施状況	実施中
担当課	子育て支援課		

(5)地域子育て支援拠点事業

P(Plan)

事業内容
乳幼児及びその保護者が相互に交流し、子育てについての相談対応、情報提供、助言等を行うことにより、家庭や地域における子育て機能の向上や子育て中の親の孤独感や不安感を低減するため、地域にて子育て支援の拠点を設置する事業。 令和2年度末現在、ひかりこども園、神愛福祉会、大阪商業大学、バンビーノハウスおもちゃ箱、そうび会の5か所へ委託することにより事業実施中。
確保方策（第二期計画記載内容）
ニーズ量に対する受け皿は確保できているが、今後は、出張ひろばなどに積極的に取り組み、より広く参加していただけるように努める。

D(Do)

（毎年度3月末現在）

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
量の見込み		17,232人回	17,097人回	16,934人回	16,473人回	**16,022人回**
確保方策		22,424人回	22,424人回	22,424人回	22,424人回	**22,424人回**
実績	確保方策の実施結果	22,424人回	22,424人回	22,424人回	22,424人回	**22,424人回**
	利用実績	5,344人回	7,754人回	8,894人回	7,504人回	**10,445人回**
事業費		45,683,000円	45,817,000円	47,015,000円	44,419,000円	**45,620,000円**
令和6年度 事業実施状況		地域子育て支援センター つどいの広場「ふじいでら」 ユッタリユックリ バンビーノハウスおもちゃ箱 ぽけっとひろば 上記5か所での拠点において、地域子育て支援拠点事業を展開した。				

C(Check)

実績値(確保方策)に関する評価
市内5カ所の拠点において、子育て支援事業を実施した。

計画目標の状況	
令和2年度	達成
令和3年度	達成
令和4年度	達成
令和5年度	達成
令和6年度	**達成**

実績値(利用実績)に関する評価	課　題
各拠点の特性を活かしたイベントや子育て講座の開催、子育て相談の実施などで、利用促進を図った。また、各拠点同士で課題や実施イベント等の共有を行い、利用者数の増加や、より利用・参加しやすい拠点運営について検討を進めた。	拠点の取り組みの周知をするとともに、拠点を利用したことのない子育て世帯への利用につながるよう、拠点事業者への支援が引き続き必要である。

A(Act)

今後の方向性
子どもが楽しめるイベントや子育て講座等の開催、また保護者が子育ての相談やアドバイスを気軽に受けることができる場であることを周知し、新規利用者の獲得を図れるよう、広報活動を行う。

計画書記載	P89	実施状況	実施中
担当課	こども育成課		

(6)子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)　※就学後

P(Plan)

事業内容
子育ての手助けを受けたい人(依頼会員)と子育ての手助けを行いたい人(援助会員)が会員となって、子育ての援助を行う相互援助活動を支援する事業。 平成14年度より、センター1か所にて事業実施中。
確保方策　(第二期計画記載内容)
依頼会員と援助会員の適切なマッチングを支援し、地域での助け合いを促進していけるよう積極的な支援を実施する。

D(Do)

事業費には、⑵②❷子育て援助活動支援事業(病児・緊急対応強化事業を除く)の費用を含む。

(毎年度3月末現在)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
量の見込み		134人日	131人日	128人日	125人日	**119人日**
確保方策		245人日	245人日	245人日	245人日	**245人日**
実績	確保方策の実施結果	245人日	245人日	245人日	245人日	**245人日**
	利用実績	159人日	0人日	0人日	14人日	**59人日**
	【参考】利用実績(送迎のみ)	17人日	45人日	0人日	95人日	**26人日**
事業費		1,655,076円	1,957,267円	2,104,221円	2,189,070円	**2,736,151円**
令和6年度 事業実施状況		こども育成課内にセンターを置き、事業を実施した。事業周知するとともに、援助会員の確保に向けては、市広報紙への掲載や市ホームページ、LINE配信、チラシ作成などを行い、周知に努めた。				

C(Check)

実績値(確保方策)に関する評価
援助会員については、安全な活動につながるよう、研修を実施し、依頼に応じられるように確保した。

計画目標の状況	
令和2年度	達成
令和3年度	達成
令和4年度	達成
令和5年度	達成
令和6年度	**達成**

実績値(利用実績)に関する評価	課　題
依頼に対し、可能な限りニーズに沿うようマッチングした。相談があった際は、状況の聞き取りながら本事業のみでなく、他に活用できるような事業も同時に案内した。	依頼会員のニーズに対応できるよう、さらなる援助会員の確保が必要。

A(Act)

今後の方向性
今後も、事業周知や援助会員及び両方会員の確保に努め、事業を継続する。研修を実施し、安全な活動を支援する。

計画書記載	P89	実施状況	実施中
担当課	こども育成課		

（7）❶養育支援訪問事業、 ❷子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業

P(Plan)

事業内容

❶児童への虐待が疑われる家庭や育児不安を抱えている家庭、出産後の養育について支援が必要と思われる妊婦等、養育支援が特に必要な家庭を訪問し、養育に関する相談・指導・助言等を行うことにより、家庭での適切な養育を確保する事業。

❷要保護児童等対策地域協議会（子どもを守る地域ネットワーク）の機能強化を図るため、調整機関職員やネットワーク構成員（関係機関）の専門性強化と、ネットワーク機関間の連携強化を図る取り組みを実施する事業。

確保方策（第二期計画記載内容）

❶今後も、養育支援が必要な家庭の早期把握に努め、その家庭に対して必要な対応を行う。

❷その時々の子ども等の状況に応じた支援内容等の把握に努め、機能強化に取り組む。

D(Do)

❶養育支援訪問事業　（毎年度3月末現在）

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
量の見込み		11人	11人	11人	11人	**11人**
確保方策		11人	11人	11人	11人	**11人**
実績	確保方策の実施結果	11人	11人	11人	11人	**11人**
	利用実績	4人	3人	2人	5人	**3人**
事業費		132,369円	186,195円	15,938円	101,085円	**69,427円**
令和6年度 事業実施状況		他機関や他の相談窓口からの紹介を受け、家庭訪問を通じて、育児不安や不適切養育の改善を目的に、養育支援事業推進員1名を雇用し、一定期間の継続支援を行った。				

❷子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業　（「量の見込み」・「確保方策」の設定なし）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費	336,258円	331,004円	41,742円	4,994,442円	**2,633,514円**
令和6年度 事業実施状況	・代表者会議1回、実務者会議1回、機関向け研修会1回、事務局会議12回を開催し、関係機関との連携強化や関係職員の専門性の向上を図るなど、児童虐待の未然防止、再発防止に向けた取組に努めた。 ・小学3年生の児童、教職員、保護者を対象に、暴力防止教室（CAP）を実施した。子どもたちだけでなく、周りの大人へも暴力防止を啓発する良い機会となった。				

C(Check)

実績値（確保方策）に関する評価

❶ 計画通り提供体制を確保できた。

計画目標の状況

令和2年度	達成
令和3年度	達成
令和4年度	達成
令和5年度	達成
令和6年度	**達成**

実績値（利用実績）に関する評価

❶ 訪問件数は3件であった。

❷ ・要保護児童等対策地域協議会では、代表者会議1回、実務者会議1回、機関向け研修会1回、事務局会議12回を開催した。
・暴力防止に対する正しい知識、情報、スキルを学ぶことができた。

課　題

❶ 家族状況も多様化する中、養育支援を必要とする家庭への対応については、様々な視点を持つ必要がある。

❷ ・虐待相談など様々な家庭への対応について、きめ細かく寄り添っていくには、常に研鑽が必要である。
・子どもたちの安心・安全のための取組を継続して推進していくこと。

A(Act)

今後の方向性

❶ 関係機関と連携し、今後も継続して事業を実施する。

❷ ・関係機関と連携し、今後も継続して事業を実施する。
・今後も、子どもへの暴力防止教室（CAP）を実施することで、子どもたち自身が身を守る力の向上を図ることのみならず、子どもを取り巻く周りの大人に対する理解を深めるようしていきたい。

計画書記載	P90	実施状況	実施中
担当課	❶子育て支援課、❷子育て支援課・学校教育課		

(8)妊婦健康診査

P(Plan)

事業内容
妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、健康状態の把握、検査計測、保健指導を実施するとともに、妊娠期間中に必要に応じた医学的検査を実施する事業。
確保方策（第二期計画記載内容）
今後も全ての妊婦を対象に受診券(14回分)を配布して受診推奨に努め、助成を継続する。

D(Do)

（毎年度3月末現在）

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
量の見込み		5,443回	5,305回	5,153回	5,015回	**4,876回**
確保方策		5,443回	5,305回	5,153回	5,015回	**4,876回**
実績	確保方策の実施結果	5,727回	5,115回	5,264回	5,045回	**4,900回**
	利用実績	4,899回	5,118回	4,625回	4,523回	**4,244回**
事業費		42,739,214円	41,156,133円	39,617,969円	37,424,858円	**35,889,291円**
令和6年度 事業実施状況		母子健康手帳発行時に妊婦健康診査受診券を交付し、医療機関、助産院により実施した。				

C(Check)

実績値(確保方策)に関する評価
確保方策の回数を確保できた。

計画目標の状況	
令和2年度	達成
令和3年度	未達成
令和4年度	達成
令和5年度	達成
令和6年度	**達成**

実績値(利用実績)に関する評価	課　題
出生数の減少により計画数よりは下回っているが、妊婦の方は必要な回数を受診されている。	出生数が減少傾向であるため、事業量の増加は見込みにくい。市全体で安心して子どもを産み育てられるような対策をとることで、出産する方が増え、事業量の増加につながることが考えられる。

A(Act)

今後の方向性
・妊婦健診の適切な受診時期について説明し、必要な時期に妊婦健診を受診するように勧奨していく。 ・妊産婦が安心できるように助産師による妊娠届出時の全数の面接と相談・訪問を実施していく。また、妊娠後期にすべての妊婦に連絡を取り、出産準備や心配事などの様子を確認する。

計画書記載	P90	実施状況	実施中
担当課	健康・医療連携課		

(9)乳児家庭全戸訪問事業

P(Plan)

事業内容
生後4か月までの乳児のいるすべての家庭に保健師等が訪問し、子育てに関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業。
確保方策（第二期計画記載内容）
今後も、すべての家庭を訪問することを目標として、周知啓発に努め、事業を継続する。

D(Do)

（毎年度3月末現在）

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
量の見込み		397人	387人	376人	366人	**356人**
確保方策		397人	387人	376人	366人	**356人**
実績	確保方策の実施結果	399人	387人	376人	366人	**356人**
	利用実績	399人	372人	370人	363人	**334人**
事業費		781,050円	775,656円	775,656円	775,656円	**548,058円**
令和6年度 事業実施状況		生後4か月頃までの乳児がいる全ての家庭に対し、保健師・看護師による訪問指導を実施した。				

C(Check)

実績値(確保方策)に関する評価
確保方策の回数を確保できた。

計画目標の状況	
令和2年度	達成
令和3年度	達成
令和4年度	達成
令和5年度	達成
令和6年度	**達成**

実績値(利用実績)に関する評価	課　題
対象者に対し訪問を実施し、子育ての不安軽減等の役割を担った。また、長期の里帰り中等で訪問できない場合は里帰り先へ訪問依頼等を行った。	・出生数が年々減少している。 ・以前に比べ事業の認知度は上がり、訪問の受け入れ状況は良くなってきたが、なかなか連絡が取れない家庭もあり、更なる周知の必要がある。

A(Act)

今後の方向性
・妊娠届出や出生連絡票提出時の面接の機会を活用することに加えて、広報やホームページ等に掲載し、本事業が受け入れられるよう事業の周知を図る。 ・訪問前に可能な限り電話にて体調確認し、了承を得てから訪問する。 ・訪問後、更なる支援が必要な場合は、適切な支援につなげる。

計画書記載	P91	実施状況	実施中
担当課	健康・医療連携課		

(10)放課後児童健全育成事業

P(Plan)

事業内容

小学校に通う児童のうち、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に対して、放課後に適切な遊びや生活の場を提供し、子どもの健全な育成を図る事業。

確保方策（第二期計画記載内容）

放課後児童会を市立全小学校で実施しており、第二期計画では、ニーズの増大が予測されるので、これに対応できるよう量の確保に努める。

D(Do)

（毎年度5月1日現在）

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
量の見込み		691人	723人	748人	770人	**776人**
	1～3年生	592人	610人	617人	629人	**623人**
	4～6年生	99人	113人	131人	141人	**153人**
確保方策		790人	790人	790人	790人	**790人**
	1～3年生	630人	630人	630人	630人	**630人**
	4～6年生	160人	160人	160人	160人	**160人**
実績	確保方策の実施結果	770人	776人	790人	830人	**830人**
	1～3年生	620人	626人	630人	660人	**660人**
	4～6年生	150人	150人	160人	170人	**170人**
	利用実績	622人	632人	667人	699人	**682人**
	1～3年生	537人	541人	554人	561人	**569人**
	4～6年生	85人	91人	113人	138人	**113人**
事業費		111,968,562円	121,813,981円	145,437,261円	140,334,494円	**162,933,819円**

令和6年度 事業実施状況	働く保護者の増加により、放課後児童会の利用ニーズは年々高まっているが、学校と協議して実施場所を確保し定員を拡充することで、待機児童を出すことなく運営することができた。

C(Check)

実績値(確保方策)に関する評価
放課後児童会活動における指導員及び実施場所の確保に努めることができた。

計画目標の状況	
令和2年度	未達成
令和3年度	未達成
令和4年度	達成
令和5年度	達成
令和6年度	達成

実績値(利用実績)に関する評価	課　題
低学年だけではなく高学年についても放課後児童会におけるニーズは高まっている。	指導員及び活動場所(教室)の確保

A(Act)

今後の方向性

指導員が不足しないよう、充足している間も広く応募をかけ、登録制を活用し、人員確保に努める。併せて、保育所の入所状況や、校区の住宅事情などから入会予測を立て、できる限り早めに学校と協議を行い、待機児童が発生しないよう、必要な教室数の確保に努める。

計画書記載	P91	実施状況	実施中
担当課	生涯学習課		

(11)利用者支援事業

P(Plan)

事業内容
子どもやその保護者、または妊娠している方が、教育・保育・保健や他の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう相談に応じ、情報提供や助言、関係機関との連絡調整等を行う事業。
確保方策（第二期計画記載内容）
適切な事業類型の検討を行い、第二期計画期間中に1か所の実施ができるよう努める。

D(Do)

（毎年度3月末現在）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
量の見込み	―	―	―	―	―
確保方策	1か所	1か所	1か所	1か所	**1か所**
確保方策の実施結果	1か所	1か所	1か所	1か所	**1か所**
事業費	2,419,690円	9,463,863円	9,380,666円	9,454,747円	**23,402,554円**
令和6年度 事業実施状況	・令和6年4月に「藤井寺市こども家庭センター」を設置し、これまでの「子育て世代包括支援センター（母子保健）」と「子ども家庭総合支援拠点（児童福祉）」がもつそれぞれの機能を活かして連携を強化し、妊娠・出産・子育てに関する様々な相談内容に応じた情報提供・助言・指導など、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援に努めた。 ・妊産婦及び乳幼児等の実情を把握し、妊娠・出産・子育てに関する各種の相談に応じて必要な情報提供・助言・保健指導を行い、支援プランを策定して、保健医療又は福祉・子育て支援の関係機関との連絡調整を図ることで、妊娠期からの切れ目のない支援を行い、子育て世帯の安心感を醸成した。				

C(Check)

実績値（確保方策）に関する評価
・計画通り提供体制を確保できた。 令和5年度までは母子保健型、令和6年度からはこども家庭センター型として事業を実施。 ・確保方策の回数を確保できた。

計画目標の状況	
令和2年度	達成
令和3年度	達成
令和4年度	達成
令和5年度	達成
令和6年度	**達成**

実績値（利用実績）に関する評価	課　題
・子育て家庭の不安軽減の一助となった。 ・利用者支援事業（こども家庭センター型）を1か所で行い、妊産婦や子育て世代への面接、相談、訪問等を実施し、子育ての不安軽減等の役割を担った。	・関係機関と連携し、切れ目のない支援を進める必要がある。 ・今後も関係機関等とより連携し、事業推進に努める。

A(Act)

今後の方向性
・当事者の意見も踏まえ、安心して出産・子育てできるように関係機関で連携する。 ・妊娠届出書・出生連絡票提出時にすべての妊産婦に助産師が面接を行い、安心して出産・子育てができるように関係機関と連携を進めていく。

計画書記載	P92	実施状況	実施中
担当課	（～R5）　健康・医療連携課 （R6）　子育て支援課、健康・医療連携課		

(12)実費徴収に係る補足給付を行う事業

P(Plan)

事業内容
保護者の世帯所得の状況等を勘案し、保護者が支払うべき日用品、文房具、その他必要な物品の購入に要する費用または行事への参加に要する費用等の一部を補助する事業。 本市においては、令和元年10月より、子ども・子育て支援新制度に移行していない私立幼稚園の園児について、副材料費にあたる給食費の補助を実施している。

D(Do)

（毎年度3月末現在）

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
量の見込み		—	—	—	—	—
確保方策		—	—	—	—	—
実績	実施結果	実施	実施	実施	実施	**実施**
	対象者数	21人	28人	18人	34人	**16人**
事業費		569,232円	1,020,968円	773,804円	918,367円	**166,896円**
令和6年度 事業実施状況		令和元年10月より開始した幼児教育・保育の無償化に合わせ、副食費の補助事業を実施。 令和5年からは、日用品・文房具等を対象とした補助事業を新たに実施。				

C(Check)

実績値(確保方策)に関する評価
「確保方策」の設定はないが、事業として実施している。

計画目標の状況	
令和2年度	達成
令和3年度	達成
令和4年度	達成
令和5年度	達成
令和6年度	**達成**

実績値(利用実績)に関する評価	課　題
「量の見込み」を設定していないため、評価できない。	現時点において特に課題はない。

A(Act)

今後の方向性
継続して実施する。

計画書記載	P92	実施状況	実施中
担当課	こども育成課		